

第【1】学年 【 社会 】科学習指導計画

月	単元名	小単元・目標	主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	評 価 規 準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	【地理】 世界と日本 の姿	1. 世界の姿	・地球の表面の水陸の分布、面積、経度と緯度、標準時、時差の求め方を理解する。 ・目的に応じた色々な地図があることに気づく。正距方位図法をつかい、距離と方位を調べる。 ・世界の地域区分について理解する。 ・各地域がどのような国から構成されているか、調べる。	・地球儀を活用して、緯度と温度との関係、緯度と日照時間との関係、経度と時間との関係を立体的に捉えている。季節の変化を図によって把握している。 ・地球儀や世界地図を活用して、世界には約190の国があることや、主な国々の国名と位置、首都を確認している。	・日照時間や日の出・日の入りの刻の違いが私たちの暮らしに与える影響をまとめることができる。 ・自然国境と人為国境の特徴と違いを把握している。	・気候や時間が緯度・経度によって異なることに関心を持ち、その関連性を意欲的に追及している。 ・世界の主な国々の名称と位置、首都を意欲的に調べようとしている。
5		2. 日本の姿	・日本の国土の位置及び領域の特色と多面的・多角的に考察し、日本の現状と位置と領域の面から大観させる。 ・経度の違いが、標準時と時差の仕組みを踏まえて、地球上における日本と世界各地との位置関係をとらえさせる。	・世界的な視野から日本の領域の特色と変化を理解し、日本の地域構成を、地図を活用して適切にとらえている。 ・標準時と時差のしくみについて理解し、世界地図を活用して、簡単な時差の計算ができる。	・日本の位置と領域の特色を、世界的な視野から多面的・多角的に考察し、簡単な説明文にまとめるなど適切に表現している。	・日本の国土に対する関心を高め、日本の位置と領域、都道府県の構成と地域区分を意欲的に追求し、日本の地域構成を大まかにとらえようとしている。
6	【地理】 世界のさまざまな地域 世界の諸地域	1. 世界の人々の生活と環境	・地域で異なる自然環境の違いを写真や映像資料、雨温図、統計資料からとらえる。 ・人々の生活と環境とのかかわりや、様々な条件のもとで多様な生活を営んでいることを理解させるとともに、異なる文化尊重する態度を身につける。	・世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する写真や統計資料、文献などの様々な資料から、自然環境の違いや社会的条件の違いに関する有用な情報を適切に選択し、世界各地の人々の生活と環境の多様性について読み取っている。	・世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然的条件、社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を基に自分たちの生活と比較しながら考察し、その過程と結果を適切に表現している。	・世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変化を基に意欲的に追究し、とらえようとしている。
7		1. アジア州	・アジア州の学習テーマを追究していく過程において、その地域的特色と課題を多面的・多角的に考察する。 ・アジア州に関する統計資料の分析、雨温図・主題図・写真の読み取りや比較・関連付けなどの地理的スキルを身につける。	・アジア州について、変化に富む自然環境と、都市化が急速に進む様子を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。	・アジア州の経済が成長してきた理由について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・アジア州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特に経済成長に関心を持ち、設定された学習テーマを意欲的に追究しようとしている。
	2. ヨーロッパ州	・ヨーロッパ州の学習テーマを追究していく過程において、その地域的特色と課題を多面的・多角的に考察する。 ・ヨーロッパ州に関する統計資料の分析、雨温図・主題図・写真の読み取りや比較・関連付けなどの地理的スキルを身につける。	・ヨーロッパ州について、小国が多いこと、地域により異なる農業がさかんなこと、世界経済における地位が低下してきた様子を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。 ・EUの成り立ち・他地域との結びつきを調べる際にどのような資料が有効か把握している。	・ヨーロッパ州の国家間の統合が進められてきた理由や、統合が可能となった理由について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・国の産業から見た結びつきを資料の読み取りから考察できる。EUの果たす役割について考察している。	・ヨーロッパ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特に国家間の統合に関心を持ち、設定された学習テーマを意欲的に追究しようとしている。	

9	10	3. アフリカ州	・アフリカ州の学習テーマを追究していく過程において、その地域的特色と課題を多面的・多角的に考察する。 ・アフリカ州に関する統計資料の分析、雨温図・主題図・写真の読み取りや比較・関連付けなどの地理的技能を身につける。	・アフリカ州について、広大なさばくを持つ自然環境、古い歴史と伝統的な文化、農業や鉱業を中心とした産業などの特色を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。	・アフリカ州の国々の他国への依存からの脱却が進められてきた過程について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・アフリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特に国家の自立に関心を持ち、設定された学習テーマを意欲的に追究しようとしている。
		4. 北アメリカ州	・北アメリカ州の学習テーマを追究していく過程において、その地域的特色と課題を多面的・多角的に考察する。 ・北アメリカ州に関する統計資料の分析、雨温図・主題図・写真の読み取りや比較・関連付けなどの地理的技能を身につける。	・北アメリカ州について、大陸と島々からなる自然環境、新しい文化、産業と経済の地域差などの特色を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。	・北アメリカ州、特にアメリカ合衆国の産業が発達している理由について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・北アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特にアメリカの国際社会における地位に関心を持ち、設定された学習テーマを意欲的に追究しようとしている。
		5. 南アメリカ州	・南アメリカ州の学習テーマを追究していく過程において、その地域的特色と課題を多面的・多角的に考察する。 ・南アメリカ州に関する統計資料の分析、雨温図・主題図・写真の読み取りや比較・関連付けなどの地理的技能を身につける。	・南アメリカ州について、南北に長い大陸の自然環境、交じり合う文化、都市と産業の発達などの特色を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。	・南アメリカ州の環境問題と環境保全の過程について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・南アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特に環境問題に関心を持ち、設定された学習テーマを意欲的に追究しようとしている。
		6. オセアニア州	・オセアニア州の学習テーマを追究していく過程において、その地域的特色と課題を多面的・多角的に考察する。 ・オセアニア州に関する統計資料の分析、雨温図・主題図・写真の読み取りや比較・関連付けなどの地理的技能を身につける。	・オセアニア州について、乾燥する大陸と島々からなる自然、先住民の文化、観光や貿易を中心とした産業などの特色を概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。	・オセアニア州の貿易相手国や貿易品の変化、移民の出身州の移り変わりなどを読み取り、資源や移民に関してアジアとの結び付きが強まっている様子を考察する	・オセアニア州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特にアジア州との関わりに関心を持ち、設定された学習テーマを意欲的に追究しようとしている。
11	【歴史】 古代までの日本	1. 世界古代文明と宗教のおこり	・歴史の始まり、人類の進化に興味を持ち、進化のようすについて調べる。 ・古代文明のようすを調べ、まとめる。 ・中国の文明が朝鮮や日本に与えた影響を知る。	・地球環境の変化の中で、人類が進化し農耕と牧畜を始め、やがて文明を形成したことを理解している。 ・世界各地でどのような文明がおこったかについて、資料を活用して調べている。 ・中国の文明が朝鮮や日本に与えた影響を理解している。	・人類の誕生から文明のおこりまでの生産の過程で、生産活動が重要な役割を果たしたことを考えている。 ・中国の古代国家のしくみについて考察している。	・人類の進化の過程・文明の形成のようすに関心を持ち追求している。 ・中国の文明が朝鮮や日本に与えた影響について関心を持ち追求している。
		2. 日本列島の誕生と大陸の交流	・日本人のルーツを調べ、縄文人の人々の生活のようすを理解する。 ・稲作の広まりとともに生活がどのように変化してきたかを考える。	・旧石器や縄文土器などの遺跡や遺物・「魏志」倭人伝などを資料として活用している。 ・稲作の開始によってくが作られ、くはどうしの戦争も始まり、古代国家のもとがつくられたことを理解している。	・旧石器時代から縄文時代へのくらしの変化を考え、稲作を伝えた人々について東アジアの動きを背景に考えている。	・日本人のルーツや稲作の開始によって人々のくらしや社会がどのように変化したのかを学ぼうとしている。

12		3. 古代国家の歩みと東アジア世界	・古墳の広まりを通して、日本の古代国家形成の過程と渡来人の役割を理解する ・日本の律令国家のしくみや農民の生活を理解し、その変容について考える。 ・仏教の広まりと文化の特色を理解する。 ・律令制の衰えの中、中央と地方の政治について理解する。	・大化の改新や大宝律令など律令国家成立の過程を理解し、古墳・十七条憲法・大宝律令などの資料を活用している。 ・遣唐使の派遣目的を資料から読み取ることができる。 ・日本の律令国家のしくみや農民の生活を理解している。 ・律令制の衰えの中、中央と地方の政治について理解する。 ・平城京・飛鳥文化・天平文化について各時代の代表的な文化遺産をもとに考察している。 ・摂関政治・武士のようす・国風文化を調べる上でいろいろな資料を活用している。	・大化の改新や壬申の乱を通して、天皇の地位が高まっていったことを考察している。 ・平城京を中心として行われた全国支配のしくみとその変容について考察している。 ・武士の登場の背景を、律令政治のゆらぎや地方政治の乱れと関連づけて考察している。 ・平安時代の主権者の変遷を歴史的背景から読み取ることができる。	・天皇による政治の基盤ができあがっていく過程に関心を持っている。 ・平城京・平安京のようす・摂関政治のなりたちに関心を持っている。 ・武士の登場と成長の過程に関心を持ち調べている。 ・国風文化による具体的な動きに関心を持っている。
	1	【歴史】 中世の日本	1. 武士の政権の成立	・律令制をめぐる政治の変化の中で、武士がおこってきたことを理解する。 ・鎌倉幕府の成立過程や支配のしくみと政治の中心が京都と鎌倉の二つになっていたことを農民の立場から理解する。	・律令制をめぐる政治の変化の中で、武士がおこってきたことを理解する。 ・鎌倉時代の武士と農民のくらしや産業発達の様子を理解できている。 ・農民の訴状から地頭と荘園領主に二重支配されていたことを読み取っている。 ・社会のようすの資料を読み取っている。 ・各時代の文化遺産を学習に活用している。	・武家政権が朝廷との抗争をへて、全国に勢力を広げていったことを考察している。 ・農業や商工業の発達などに着目して、武家政治の成立について多面的・多角的に考察・表現している。 ・鎌倉時代文化の特色を考えている。
2		2. ユーラシアの動きと武士の政治の展開	・中世の日本の変化を東アジアの情勢と関わらせて理解をする。 ・鎌倉幕府を滅亡させた武士社会の変化について調べ、諸産業発達を知る。 ・武家社会では下剋上はげしくなり、農村では自治が進んだことを理解する。 ・	・元寇についていろいろな資料を活用して学習している。 ・幕府を滅亡させた武士社会の変化について理解している。 ・東アジアとの交流について、地図などを活用して理解している。 ・室町時代の下剋上の社会や農村の自治の進展の背景を理解している。 ・室町の文化の特色について、鎌倉の文化との共通性を理解している。	・鎌倉幕府のおとろえた原因を、多面的に考察している。 ・室町幕府の成立、下剋上の過程を通して、農村の自治が進む背景を考察している。 ・ユーラシアの動きや東アジアにおける交流と武家政権とを関連させて、多面的・多角的に考察している。	・元寇と武士の抵抗のようすに興味と関心を持っている。 ・室町幕府の政治・下剋上のようすや農民の自治に関心を持ち、追求している。 ・中世の文化に興味と関心を持っている。
3	【歴史】 近世の日本	1. ヨーロッパ人との出会いと全国統一	・ヨーロッパ人の来航の背景を、新航路の開拓を中心に理解させ、鉄砲とキリスト教の伝来が日本に与えた影響を考えさせる。	・戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航について理解し、その知識を身に付けている。 ・戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航、織田・豊臣による統一事業と、当時の対外関係や文化に関する図版、史料、年表、歴史地図などの様々な資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。	・ヨーロッパ文化の伝来が日本の社会に及ぼした影響を、キリスト教や鉄砲の伝来、南蛮貿易に注目して、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航に対する関心を高め、意欲的に追究している。

第【2】学年 【 社会 】科学習指導計画

月	単元名	小単元・目標	主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	評 価 規 準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	【地理】日本のさまざまな地域	地形図の使い方 2. 日本の地形	・日本の国土の位置及び領域の特色と多面的・多角的に考察し、日本の現状と位置と領域の面から大観させる。 ・日本の地形の特色を理解させる。	・日本の地域構成を、地図を活用して適切にとらえている。 ・日本の地形の特色には地域差があることを理解する。	・日本の位置と領域の特色を、世界的な視野から多面的・多角的に考察し、簡単な説明文にまとめるなど適切に表現している。	・日本の国土に対する関心を高め、日本の位置と領域、都道府県の構成と地域区分を意欲的に追求し、日本の地域構成を大まかにとらえようとしている。
	日本の地形的特色	7. 日本のさまざまな自然災害	・世界的視野から見た日本の地形や気候の特色を理解させるとともに、日本の自然環境に関する特色を大観させる。 ・地形や気候と人々の生活とのかかわりを学ぶことを通して、地形と気候を取り上げる意義を理解させる。	・日本全体の視野から見て国内の地形や気候の特色や分布には地域差があること、暮らしに影響を与える様々な災害があることを理解し、その知識を地図上で身に付けている。 ・地球儀、地図（一般図や主題図）、統計資料などから、日本の地形の特色や気候区の分布を読み取っている。	・ときに生命や財産を奪い、人々の生活に影響を及ぼす自然災害を、日本の自然環境や人間活動と関連付けて、多面的・多角的にとらえ、災害を防止するための努力や工夫について考察する。 ・資料から読み取った日本の地形の特色や気候区分を白地図や雨温図などにまとめている。	・四季の変化に地域差があるなど、日本の地形や気候は、世界各国と比較して複雑であることに関心を持ち、意欲的にとらえようとしている。
5		2. 日本の人口	・日本の人口と人口密度、少子高齢化の課題を理解させるとともに、国内の人口分布、過疎・過密問題を取り上げ、日本の人口に関する特色を大観させる。	・日本の過疎・過密地域を理解し、その知識を身に付けている。 ・人口構成や人口分布の特色を考察するために、人口ピラミッドや分布図を作成し、活用している。 ・日本の過疎・過密地域の情報を収集し、活用している。	・日本の過疎・過密の課題を考察している。	・日本の人口構成や人口分布が大きいかたよっていることに関心を持ち、高齢化や少子化、過疎・過密がもたらす社会的な課題を欲的に追求している。
		3. 日本の資源・エネルギーと産業	・日本の資源・エネルギー消費の現状を理解させる。 ・鉱産資源の算出両やエネルギー消費量の分布を理解させる。日本の輸入依存について気付かせる。	・日本の産業の特色と課題について理解している。 ・日本の環境課題への対策と再生可能エネルギーの利用やリサイクルへの取組、技術開発に力を入れていることを理解している。 ・日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を、分布図やグラフなど様々な資料から読み取っている。	・日本の資源・エネルギー問題について、環境と関連付けて、多面的・多角的に考察している。 ・日本の産業の特色と課題について、世界の産業と比較し関連付けて考察している。	・資源やエネルギーの大量消費により、地球温暖化などの環境問題が世界的な問題になっていることと再生エネルギーの取組が日本各地でなされていることを意欲的にとらえている。
6		4. 世界と日本の結び付き	世界的視野から日本と世界との交通・通信網の発達の様子や物流を理解させるとともに、国内の交通・通信網の整備状況を取り上げ、日本と世界の結び付きや国内各地の結び付きの特色を大観させる。	・交通網の発達で日本の貿易の内容が変化していることや、国内の交通網の整備が人々の暮らしに大きな変化をもたらしている様子を理解し、その知識を身に付けている。 ・世界各地・日本国内の地域の結び付きが変化している様子を地図や図表などから読み取っている。	・交通・通信網の発達は、世界各地・日本国内の主要都市間を強く結び付けるが、その結果として発展する地域と過疎化する地域が生じることを考察し、簡単な説明文にまとめるなど適切に表現している。	・日本国内の交通・通信網の整備は、生活を便利に、豊かにする反面、地域間の格差を生み、過疎化する地域を生み出すなど、人々の生活に大きく影響していることに関心を持ち、意欲的にとらえようとしている。
7	日本の諸地域	1. 九州地方 自然環境に注目して	・九州地方には火山が多く様々な災害を起こしている一方、恵みをもたらしている事に関心を持つ。 ・稲作や近代的な工業が発達してきたことを理解する。 ・工業化による深刻な公害が発生した水俣市が、環境モデル都市に選定される過程を捉える。	・地図や雨温図を通して自然環境の特徴をとらえている。 ・環境を保全するために砂防ダムや建設や土壌流出を防ぐ工夫がなされていることを理解している。 ・人口と産業の地域的な違いを地図上で読み取っている。	・自然災害や環境問題を自然環境の特色や地域開発の動向と関連づけて捉えている。 ・水俣市と福岡市の環境問題の原因と対策を多面的・多角的に考察している。	・九州地方の自然災害や公害について意欲的に追求しようとしている。 ・水俣市と福岡市の環境保全の取り組みを通して身近な地域の取り組み関心をもっている。

7	9	2. 中国・四国地方 交通や通信に注目して	・中国・四国地方の地域的特色について、 交通や通信のつながりに注目して考察させる。 ・過疎・過密地域のかかえる問題を具体的に とらえ、その解決が課題になっていること をとらえさせる。	・中国・四国地方について、自然環境や人 口、産業などの特色を大まかにとらえている。 ・地域的特色を理解し、その知識を身に付け ている。 ・中国・四国地方の地域的特色に関する各種 の地図や統計、写真などの資料を収集し、読 み取っている。	・中国・四国地方の特色を、人口や都市・村 落を中核とし多面的・多角的に考察し、適切 に表現している。 ・都市と農村の変化を、自然環境や人々の生 活、産業などと関連付けて考察している。	・中国・四国地方の自然環境、人口、産業な どの特色について、交通網の整備と都市と農 村の変化に関心を持ち、意欲的に追求しよ うとしている。 ・過疎、過密地域の問題と身近な地域の事象 を含めて、広く関心を持っている。
		3. 近畿地方 環境保全に注目して	・近畿地方の地域的特色を産業や文化の 歴史的背景や開発の歴史に着目し、環境 保全の取り組みと関連付けて考察させる。 ・地域の地理的事象の形成や特色には、歴 史的な背景があることをとらえさせる。	・近畿地方について自然環境や人口、産業な どの特色を理解し、その知識を身に付けてい る。 ・近畿地方の地域的特色に関する各種の地 図や統計、写真などの資料を収集し、有用な 情報を選択して、読み取っている。	・近畿地方の地域的特色を、歴史的背景を中 核として考察し、その過程や結果を適切に表 現している。 ・近畿地方の様々な特色について、歴史的背 景の違いに着目し、表現している。	・近畿地方の自然環境、人口、産業などの特 色について伝統的な文化と歴史的背景に関 心を持ち、意欲的に追求しようとしている。 ・様々な都市の形成、歴史的な背景や伝統的 な文化の継承・保存について、関心をもっ ている。
		4. 中部地方 産業に注目して	・中部地方の地域的特色について、東海、 中央高地、北陸の各地域の違いと自然的、 社会的条件の両面から考察してとらえさせ る。 ・中部地方の産業が地域に果たす役割やそ の動向が、交通網の整備や外国との関係な どによって変化していることを理解させる。	・中部地方について、自然環境や人口、産業 などの特色を大まかにとらえている。 ・中部地方の地域的特色に関する各種の地 図や統計、写真などの資料を収集している。	・中部地方の地域的特色を、産業を中核とし た考察を基に多面的・多角的に考察し、適切 に表現している。	・中部地方の自然環境、人口、産業などの特 色について関心を持ち、意欲的に追求しよ うとしている。
		5. 関東地方 人口や都市・村落に注目し て	・関東地方の地域的特色について、東京に 日本を動かす中枢機能が集中していること に着目して、日本各地や世界との結びつき をとらえさせる。	・関東地方について、自然環境や人口、産業 などの特色を大まかにとらえている。 ・関東地方の地域的特色に関する各種の地 図や統計、写真などの資料を収集している。	・関東地方の地域的特色を、産業を中核とし た考察を基に多面的・多角的に考察し、適切 に表現している。	・関東地方の自然環境、人口、産業などの特 色について概観する中で、特に他地域との結 びつきに関心を持ち、意欲的に追求しよ うとしている。
		6. 東北地方 生活・文化に注目して	・東北地方の地域的特色を、伝統的な生活 や文化を通して、その自然環境や歴史的背 景、他地域との交流などから多面的に考察 させる。	・東北地方について、自然環境や人口、産業 などの特色を大まかにとらえている。 ・東北地方の地域的特色に関する各種の地 図や統計、写真などの資料を収集している。	・東北地方の地域的特色を、産業を中核とし た考察を基に多面的・多角的に考察し、適切 に表現している。	・東北地方の自然環境、人口、産業などの特 色について伝統的な生活や文化に関心を持 ち、意欲的に追求しようとしている。
		7. 北海道地方 自然環境に注目して	・北海道地方の地域的特色を、自然環境の 特色と関連付けてとらえさせる。	・北海道地方について、自然環境や人口、産 業などの特色を大まかにとらえている。 ・北海道地方の地域的特色に関する各種の 地図や統計、写真などの資料を収集してい る。	・北海道地方の地域的特色を、産業を中核と した考察を基に多面的・多角的に考察し、適 切に表現している。	・北海道地方の自然環境、人口、産業などの 特色について特に広大で冷涼な自然環境に 関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。
11	12	【歴史】 近世の日 本	2. 江戸幕府の成立と鎖国	・江戸幕府の成立の経緯と政治制度のあら まし、幕府による大名や朝廷の統制政策を 理解させる。 ・江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、身 分制度の確立および農村の様子、鎖国下の 対外関係を理解している。 ・学習課題に関する史料、年表などの様々な 資料を適切に読み取っている	・学習課題を見だし、政治の特色を多面的 ・多角的に考察し、結果を適切に表現してい る。	・江戸幕府の政治、身分によって異なる人々 の暮らし、鎖国下の対外関係に対する関心を 高め、意欲的に追究している。
		3. 産業の発達と幕府政治 の動き	・身近な地域の特色を生かした事例を選ん で、農業をはじめとする諸産業の発達の様 子を理解させ、それらが発達した理由を考 えさせる。	・産業・交通の発達、教育の普及、文化の特 色を、身近な地域の歴史的な事象に関連させ て理解し、その知識を身に付けている。 ・学習内容に関する図版、グラフ、史料、 年表、歴史地図などの様々な資料を適切 に選択して読み取っている。	・産業・交通の発達、江戸幕府の政治改革と 政治の行き詰まり、新しい学問・思想の動き から課題を見だし、多面的・多角的に考察 し、結果を適切に表現している。	・産業・交通の発達、教育の普及、町人文化 や地方の生活文化に対する関心を高め、意 欲的に追究している。

1	開国と近代日本の歩み	1. 欧米の進出と日本の開国	・欧米諸国のアジア進出を近代革命、アジア諸国の動きを通して理解させる。 ・開国から江戸幕府滅亡までの過程を欧米諸国の動きと関連付けて理解させる。	・欧米諸国が近代社会を成立させ、アジアへ進出した経緯と開国から江戸幕府滅亡までの経緯を理解している。 ・欧米諸国とアジア諸国の動きについて資料を収集し、考察している。 ・開国の影響と幕府政治の推移を追及している。	・ヨーロッパのアジア侵略の背景や理由を多面的に考察し、適切に表現している。 ・開国の影響と幕府政治の推移について考察し、判断している。	・欧米諸国の近代革命や産業革命に関心を持ち、近代国家の成立やアジア諸国への影響について意欲的に追及している。
		2. 明治維新	・明治維新の諸政策の特色を考えさせる。 ・明治維新によって、近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ・立憲制国家が成立し日本の国際的地位が向上したことを理解させる。	・明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ・日本の議会政治の始まりと国際社会の地位向上を理解し、知識を身につけている。 ・富国強兵、殖産興業、文明開化を通して、人々の生活が大きく変化しことをまとめている。 ・自由民権運動、憲法制定について資料から読み取っている。	・新政府の諸改革の特色を多面的多角的に考察している。 ・自由民権運動から憲法制定までの内容について考察している。	・明治維新の経緯や改革の内容、人々の生活の変化に関心を持ち、意欲的に追及している。
3		3. 日清・日露戦争と近代産業	・日本の近代産業の発展を大陸との関係や韓国の植民地化から理解する。 ・近代文化の形成を学問や化学の分野での国際的な業績から生まれたこと理解する。	・日清・日露戦争、条約改正を理解し、その知識を身につけている。 ・近代文の形成を理解し、その知識を身につけている。 ・日清戦争から韓国の植民地化までの日本の動きをまとめている。 ・国民生活の変化や学問、教育、芸術に関して資料から調べ、読み取っている。	・日清・日露戦争における欧米諸国の利害関係や国内の様子、戦争の影響について考察している。	・19世紀後半の国際関係に興味を持ち、日清・日露戦争が起こった理由を意欲的に追及している。

第【 3 】学年 【 社会 】科学習指導計画

月	単元名	小単元・目標	主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	評 価 規 準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	【歴史】 5. 開国と近代日本の歩み 6. 二度の世界大戦と日本	3. 日清・日露戦争と近代産業	・日本の近代産業の発展を大陸との関係や韓国の植民地化から理解する。 ・近代文化の形成を学問や化学の分野での国際的な業績から生まれたこと理解する。	・日清・日露戦争、条約改正を理解し、その知識を身につけている。 ・近代文の形成を理解し、その知識を身につけている。 ・日清戦争から韓国の植民地化までの日本の動きをまとめている。 ・国民生活の変化や学問、教育、芸術に関して資料から調べ、読み取っている。	・日清・日露戦争における欧米諸国の利害関係や国内の様子、戦争の影響について考察している。	・19世紀後半の国際関係に興味を持ち、日清・日露戦争が起こった理由を意欲的に追及している。
		1. 第一次世界大戦と日本	・世界恐慌がおこった過程について整理し、ファシズムの台頭との関わりを考える。	・第一次世界大戦前後の日本の政治の動きを理解している。 ・中国や朝鮮での反日運動の高まりの理由を理解している。	・第一次世界大戦が日本に与えた影響について考察している。 ・第一次世界大戦が日本に与えた影響をまとめている。	・第一次世界大戦前後の出来事について、第一次世界大戦を中心にまとめている。
		2. 世界恐慌と日本の中国侵略	・日本の満州支配の強化と中国への全面侵略と戦時体制の様子をまとめる。	・世界恐慌後の各国の政策について理解している。	・世界恐慌が各国に与えた影響と、その後の政策について考察している。 ・軍部台頭の理由について考察している。	世界恐慌が世界各国、日本に与えた影響と中国との戦争に至った理由を意欲的に追及している。
		3. 第二次世界大戦と日本	・第2次世界大戦の原因と経過について調べ、理解する。	・日本の参戦にいたる経緯と第二次世界大戦の内容を理解している。	・世界恐慌から第二次世界大戦終結の様子を因果関係を考えてまとめている。 ・資料をもとに、第二次世界大戦の様子を図で表している。	・第二次世界大戦中の世界の動きを追求している。
		1. 戦後日本の発展と国際社会	・日本国憲法と戦後の日本の民主化について調べ、意義を知る。 ・米ソの対立から世界が多極化していく経緯を調べ、理解する。	・日本国憲法と大日本国帝国憲法を比較している。 ・戦後の日本の民主化政策や憲法の制定、国際復帰の動きについて理解している。 ・東西対立など世界の動きの中に日本を位置づけて理解している。	・新しい国家のしくみがどのように民主的、平和的であるかについて考察している。	・日本の民主化と国際社会への復帰について調べている。
5	7. 現代の日本と世界	2. 新たな時代の日本と世界	・経済成長と国民生活の変化や環境問題など、現在の課題について考える。	・国際社会における日本の役割を理解している。 ・1960年代以降の日本の大きな変化を資料を活用してとらえている。	・産業、経済、科学技術の発達とそれに伴う国民生活の変化を世界の動きと関連づけて考察している。	・高度経済成長に伴う国民生活の変化に関心を持っている。 ・戦後の日本の歩みについて諸外国との関わりから比較している。
		【公民】 1. 現代社会と私たち	・現代日本の特色を理解し、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現する。	・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。	・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。	・私たちが生きる現代社会について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。

9	2. 個人の尊重と日本国憲法	2. 私たちの生活と文化	現代社会における文化の意義や影響について理解し、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現する。	・現代社会における文化の意義や影響について理解している。	・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。	・文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
		3. 現代社会の見方や考え方	・対立と合意、効率と公正などについて理解し、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解する。	・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。 ・人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。	・対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、決まりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
		1. 人権と日本国憲法	・人権思想の歴史など歴史的分野の学習内容を踏まえて、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原則としていることについて理解する。日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。	・人権思想の歴史など歴史的分野の学習内容を踏まえて、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原則としていることについて理解している。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している	・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、対話的な活動を通じ日本国憲法が大切にされてきた理由について、多面的・多角的に考察、表現している。	・日本国憲法が大切にされてきた理由について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
	3. 現代の民主政治と社会	2. 人権と共生社会	・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解し、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、日本国憲法において、人権保障が大切にされている理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、表現する。	・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。	・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、日本国憲法において、人権保障が大切にされている理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、表現している。	・人権保障が大切にされている理由について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
		3. これからの人権保障	・社会の変化に伴って人権の考え方が変化していく中でも、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解し、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、表現する。	・社会の変化に伴って人権の考え方が変化していく中でも、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。	・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配などに着目して、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について、対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、表現している。	・社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
		1. 現代の民主政治	・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解する。 ・民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。	・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している	・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
10						

11	4. 私たちの暮らしと経済	2. 国の政治のしくみ	・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解する。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解する。 ・民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。	・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
		3. 地方自治と私たち	・地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解する。 ・民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	・地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。	・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
		1. 消費生活と市場経済	・事例や統計資料などを収集・選択し、読み取る学習を通して、身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解し、消費生活や流通に関する様々な事例を基に、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現する。	・事例や統計資料などを収集・選択し、読み取る学習を通して、身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、消費生活や流通に関する様々な事例を基に、個人や企業の経済活動における役割と責任について現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	・身近な事例の提示や、シミュレーションなどの活動を通して、市場の働きと経済について理解し、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
		2. 生産と労働	・現代の生産などの仕組みや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の意味について理解する。 ・社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察させ、表現する。 ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとする。	・現代の生産などの仕組みや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の意味について理解している。	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている	・市場の働きと経済について理解し、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
12						

1	5. 地球社会と私たち	3. 市場経済の仕組みと金融	・市場経済の基本的な考え方について理解させる。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解し、現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解する。 ・個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察させ、表現する。	・市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解している。 ・現代の金融などの仕組みや働きを理解している。	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
		4. 財政と国民の福祉	・社会資本の整備、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解し、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	・社会資本の整備、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
		5. これからの経済と社会	・公害の防止など環境の保全について、その意義を理解し、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	・公害の防止など環境の保全について、その意義を理解しているについて、それらの意義を理解している。	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
		1. 国際社会の仕組み	・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解する。その際、領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解する。 ・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとする。	・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。 ・領土（領海、領空を含む。）、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。	・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。

3		2. さまざまな国際問題	・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解する。 ・日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。	・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。
		3. これからの地球社会と日本	・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、各国民の相互理解と協力が大切であることを理解する。 ・日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。	・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、各国民の相互理解と協力が大切であることを理解している。	・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。